

【第8期】第9回柳瀬川・空堀川流域連絡会

全体会議事録

■開催日時・会場

日時：平成30年4月26日（木） 14：00～16：00

会場：北多摩北部建設事務所 3階第5会議室

■出席者（順不同・敬称略）

都民委員9名／団体委員4名／行政委員10名／事務局等8名

■座長及び新任委員挨拶

- ・北多摩北部建設事務所工事第二課長（座長）
- ・東村山市まちづくり部みどりと公園課長
- ・東村山市まちづくり部道路河川課長
- ・東大和市環境部環境課長（代理）
- ・北多摩北部建設事務所管理課長

■議事要旨

【今後のスケジュール（予定）について】

※事務局が、資料-5に基づき、今後のスケジュール（予定）について提案を行いました。

- ・前回、任期延長と併せてスケジュール（案）を提示して、分科会に分かれてまとめるためにもう1回くらい開催した方が良いというご意見をいただいたので、事務局で再検討しました
- ・第9回が本日、第10回が平成30年6月下旬、さらに第11回を8月のお盆前後に開催して、今期のまとめという形で締めたいと考えています
- ・第9期の委員募集は、第8期最終回の日程が決まった頃に、各市にお願いして市報に掲載しながら始めていきたいと考えています

【第8回議事の確認】

※事務局が、資料-3に基づき、第8回流域連絡会での主な議事内容について以下のとおり報告を行いました。

- ・それぞれのグループごとに意見がいろいろと出たので、前回に比べて分科会に分かれての議論の部分を、かなり詳しく記録して作成しています
- ・進行の仕方については、最初に全体で集まって事務局から事務的な連絡や今後の予定、情報提供などをさせていただいた後、本題の3つのグループに分かれてご議論いただき、その後また全体に戻って代表者の方から議論の内容をご報告いただき、それに対してご質問やご意見があればという形を採らせていただいています
- ・分かれて意見交換を行った後、それぞれのグループの代表の方から議論の内容を発表していただいているのが5～7ページで、ここだけを見てもそれぞれのグループがどんな話をされたのかわかる

ような形で議事録（案）を整理させていただいています

- ・ 13ページ以降に、それぞれのグループごとの議事の要旨をまとめてあります
- ・ 発言内容が違うなど、問題があれば事務局までお知らせください。修正して、議事録の最終版とします
- ・ 参考として資料 - 7に、それぞれのグループがこの2回でどんなことについて話していたか、主だったテーマを分類してみたので、前回・前々回の振り返りとして、この後のグループに分かれて議論する際にご活用いただければと考えています

【平成30年度 工事予定箇所について】

※事務局が、資料 - 6に基づき、以下のとおり概要説明を行いました。

- ・ それぞれの工事については、まだ具体的で詳細な内容が固まっていないものもあるので、あくまで予定ではありますが、本日時点で、今年度こういう箇所でこういう工事が予定されているという資料としてご覧いただければと思います

①金山調節池しゅんせつ工事

- ・ 昨年もご説明させていただいて、12月にお送りした詳細資料にもあるとおり、金山調節池のしゅんせつを2年間で行う2年目の工事だったのですが、昨年契約不調になり実施できなかったために今年度再発注を考えています

②柳瀬川防災工事（護岸）

- ・ 城前橋上流右岸側の護岸が老朽化して、今は根固めをしていますが、渇水期に入った11月頃から護岸の改修を予定しています

③柳瀬川護床工設置工事

- ・ 12月にお送りした資料に入っていた箇所で、野塩団地の前と日向橋の上流側で河床がえぐられているため護床工を設置する工事で、やはり昨年契約不調になったために今年度再発注を予定しています

④柳瀬川防災工事（緊急施行）

- ・ 前回の流域連絡会でご説明させていただきましたが、昨年10月の台風で二柳橋上流の護岸が崩落して土のう積で応急復旧した箇所で、今まさに本格復旧の護岸工事を施工しており、今年7月くらいまでに完了する予定

⑤柳瀬川整備工事（その22）

- ・ 柳瀬川旧川と空堀川の合流点に魚道を造る工事を予定しており、3月末に地元の方に情報提供をさせていただいています

⑥空堀川河床整備工事（その4）

- ・ 今工期を延伸して施工している箇所の上流側、三郷橋の上下流で計画河床まで掘り下げて断面を広げる工事

⑦空堀川緑化整備工事及び維持工事（その3）

- ・ 昨年、御成橋のところに階段を造るなどの整備を行った箇所の上流側での引き続きの工事で、なかよし橋から上堀橋あたりを予定しています

⑧空堀川整備工事（その203）

- ・ 200番台は旧川の整備工事、昨年この下流側で（その202）工事を行っていたが、今年度はその上流側、丸山一の橋の上下流、暫定の庚申橋調節池があった区間になります

⑨空堀川整備工事（その64）

- ・お送りした資料で工事図面を提供したが、東芝中橋の上下流で、工場の排水が出ている箇所への付け替えも含めた工事を、今年の10月くらいまでの予定で施行中
現在、東芝中橋を中心に施工中だが、次に⑫空堀川整備工事（その65）でその上下流にできている新川とつなぐ工事を行って、全て新しい川に切り替わる予定

⑩空堀川整備工事（その74）

- ・提供させていただいた資料にあった箇所で、旧芋窪街道の中砂橋の北側に新しい川を掘って新中砂橋を架設する工事で、昨年から引き続き実施しています

⑪空堀川整備工事（その75）

- ・神明橋の上下流で河道を広げ、それに伴い神明橋も架け替えるという工事で、平成31年9月までの工事を予定しています

⑬奈良橋川整備工事（その3）

- ・3月から施工予定だったが契約不調になり、今年度9月頃からの施工を目指して、現在再発注に向けて準備をしている状況

都民委員

- ・⑩空堀川整備工事（その74）の契約は成立していたのか確認したい。契約できなかったのは⑫空堀川整備工事（その65）ですか？

事務局

- ・⑩空堀川整備工事（その74）の契約は成立していて、今現場で工事をやっています。⑫空堀川整備工事（その65）はこれからで、（その64）が終わったら、その上下流で引き続きやる工事です。

都民委員

- ・不調に終わった工事は何番ですか。

事務局

- ・奈良橋川の合流点⑬、それと③や①もそうです。資料に「H29不調・再発注」と書いてあるのがそのような工事になります。なかなか不調が多い、今はそういう市場です。

団体委員

- ・同じ内容の入札を繰り返しても、同じ結果になる可能性が出てくるのではないですか。工事は進めていただきたいので、もう少し契約が可能になるような方向での努力、工夫をお願いします。

都民委員

- ・初めから応じる専門の業者がいないのですか、応じたけれどもだめだったのですか、その理由を聞かせていただきたいと思って手を挙げました。

事務局

- ・東京都が公共工事として発注をして、競争入札になるので、申し込みをしたけれども辞退するということもあるし、同じ時期に他の工事が出ていてそちらを受注したので申し込みもしないというケースもあります。それから、正式に入札行為をするための金額や図面も渡して、具体的に入札の検討までしたけれど、技術力なり採算が合わないから辞退するというケースもあります。もっとあるのは、建設工事は監理技術者や主任技術者など資格を持った人が現場に専任しなければいけないという法律上の決まりがあって、会社としては工事はやりたいけれど、技術者が他の工事に従事してしまっているのもう取れないというケースも。今、この管内で河川工事を得意として契約を取ろうという業者が少ないということもあるかもしれません。

団体委員

- ・3月初めまでの工期設定なのに、4月中旬から5月までいってしまうという工事が多い。魚の産卵時期が4月くらいにはもう始まっているので、発注をもっと早くして3月の上旬くらいまでに必ず終わらせてください。工事による土砂が砂の上に乗ってしまって産卵できない。なんとか工夫してください。

座長

- ・事務局からも説明させていただいたとおり、できるだけ適切な時期に工事をやりたいのですが、例えば不調で再発注しなければいけないとか、基本的に出水期は川の中で工事しないとか、どうしても時期が制約されて、なかなか思うに任せないところはあります。

団体委員

- ・耐用年数100年レベルのものを造らないで、30年ぐらいのもう少し短い期間の簡易なものにすれば、工事がしやすくなるのではないですか。その方が、魚や自然のためにもいいのでは。

都民委員

- ・⑦空堀川緑化整備工事及び維持工事（その3）で、その前に（その1）（その2）が終わったけれど、我々市民には何の相談もありません。何のためにやっているのか。両側の管理通路や、河川用地を公園みたいにしてるので、それ自体いいことですが、我々市民からの意見を聴取する場というのがありません。ぜひそれをやってください。
- ・（その2）で、御成橋のところに親水階段ができて、ベンチを作ったけれど、高木を植えていないので、何の日陰もなく、おそらく夏場は暑くていられません。将来日陰になるような木を今のうちに植えてください。
- ・JR武蔵野線からの排水が出ているところの土のうを壊している人がいます。下流にそのまま流れてしまって、せつかく流連で造ったワンドに水が行きません。例えばワンドの10mくらい上流に、鉄の支柱を打ってロープを張って、立入禁止にしてください。
- ・御成橋のところでドッグランみたいに犬を放してしまっている人がいます。せつかく下に降りられるようになって、小さい子供さんは怖くて行けない。ちゃんと注意事項に書いてください。
- ・⑧空堀川整備工事（その203）は、やはり旧川を埋めてしまうという計画ですか。

事務局

- ・そう聞いています。

都民委員

- ・⑫空堀川整備工事（その65）では、工場から出ている排水をいきなり新川に繋いでしまうのですか。

事務局

- ・⑨空堀川整備工事（その64）の、今やっている工事で繋がります。

都民委員

- ・はっきり言ってまったく反対です。3～4年前、切り替えた途端に東村山に来る水の量がガクッと減ってしまいました。4市で測っているデータにも出ています。新しく造った川は水が浸み込みやすいので、いきなり切り替えるというのは問題があります。おそらくこれをやったら、工場の水は、もう東村山まではまったく来なくなってしまう。そういう過ちを繰り返さないでいただきたい。何年前かに市民懇談会をやったけれども、東村山市民は全くオフリミットで一切意見は言わせてもらえなかった。結局、被害を受けるのは下流だが、言う場がまったく無い。そういうことをやってきている。だから同じ轍は踏まないようにしてください。

※地域別グループに分かれて意見交換

【全体報告】

(1) 下流：清瀬市グループ

団体委員

- ・前回、第2回の流れから検討した。木の役割を見直すということで、河川の木は河川法上あまり好ましくないし、最近では70mm以上や100mmという大雨もあるが、でも何とか木は残しておいてほしい。伐るのは仕方ないとして、伐ったら必ずどこかに植え替える。上手く治水と両立して行ってください。
- ・空堀川で工事が続いているが、工事をやった下流では今ほとんど魚がいない。工夫してやってほしい。そうすれば生態系が戻るのが少し早くなるのではないですか。

都民委員

- ・長年経てば川の環境が戻ってくる、市民が求めている川に対するニーズといったものに少しずつ川の方で近づいていく、そんな方向を私たちが少しでもお手伝いするというような視点で、川の自然を元に戻していけるような工事をしていただきたいという話がありました。

(2) 中流：東村山市グループ

団体委員

- ・最初に、先ほど話があった、次の工事をやる時は前もって住民の意見を聞く会を設けていただきたい、ということが一つ。
- ・新たに東村山市から〇〇課長、〇〇課長、〇〇さんの3人がお見えになっているので、復習という形で空堀川流域の水の流れ、水循環について、雨水、上水、下水を合わせて〇〇さんに解説していただきました。
- ・水量確保10項目について、今日は時間がなかったので目を通して検討していただくということで、今すぐできることとして、道路河川課の〇〇課長から、川の中に親水公園的なものを造ってみてはどうかという、すごくいいアイデアをいただきました。御成橋のところは、武蔵野線の地下水が出ていて常時水がある。階段も作っていただいたので、名前をつけて親水公園にしてはどうかという話が出ました。
- ・北北建と交わしている樹木管理規定があつて、「どういう木はどういう処置をする」ということが一応決まっていますが、いろいろな関係でできていないので、守っていただければという話が出ました。

都民委員

- ・伐ってほしいという強い意見が出て伐ってしまったために、随分川が荒れてしまったということがあります。東京都と一緒に市民の何人かが歩いて、「これはやっぱり伐らない方がいい」「これは伐るべきだ」とか、何かいい方法を。流連で決めた樹木管理ルールも守られていないので、それも改善されるといい。

(3) 上流：東大和市・武蔵村山市グループ

行政委員

- ・柳瀬川・空堀川最大の課題の水涸れ問題について、特に第2回で対策を三つほど検討しましたが、それをもう少し深く検証しました。
- ・一点目が粘土張りの効果検証で、粘土を張ると逆に下からの湧水が阻害されてしまうのではないかと

という疑問も出ましたが、土木技術支援・人材育成センターの地下水調査で、原因ははっきりしていませんが、今、水位全体は下がっているという傾向がある、また湧水の阻害についてもまだ不明な中で、粘土張りは、今考えられる方法の中ではベターな選択ということで、今後それを広げていって、工事の前後でデータを採取してその効果を検証していくということが必要だという議論になりました。

- 二点目が水源の確保で、以前に比べて水が少なくなっている原因として、昔は空堀川の方に繋がっていた久保の川を空堀川に付け替えたためではないかとか、かたくりの湯は地下水を汲み上げて使ったお湯をそのまま下水に流してしまっているの、結局、流域全体としては水が減ってしまっているのではないかという話もありましたが、流域全体の水循環を考えて、今後対策していかななくてはならないのではないかということで、武蔵村山・東大和エリアには長圓寺や眞福寺の池、滝の入不動尊など水が豊かなところがあるので、そういうようなところを回復させていく、番太池や赤坂池などのかいぼりをやって機能を回復していく、また雨水の貯留浸透施設の普及に取り組んで雨水を活かしていくというような方策が必要だという話がありました。
- 最後に広範囲な取り組みということで、将来的に雨水貯留の施設を川のそばや管理用通路の地下などに設置するようなことを考えていった方がいいのではないか、生き物に関しても、これからの河川整備でどのような影響が出るかということフォローしていかななくてはならないという話が出ました。
- あとは全体に通じる話として、情報開示や都民への啓発ということが非常に重要だという議論の中で、市民の側と行政の側で情報に関して意識の違いがあるのではないかと、できるだけ市民の側に立ってきめ細かい情報提供をお願いしたいという話がありました。また先ほども話があった、犬を放し飼いにするとか、魚や鳥に餌やりをするなどの行為も出てきているので、併せて都民へのマナー啓発ということに取り組む必要があるという議論がありました。

副座長

- あと水質の話がありました。水質の類型がE類型からA類型に上がったので、しっかり各地域で調査してフォローしていく必要があるのではないかとということで、具体的には、異常に高いEC（電気伝導度）をどのように評価していくかというところは議論する必要があるのではないかとということで発言させていただきました。
- 生き物調査に関しては、市民・都民が恵みとして感じている生き物について、それぞれの地域でどうなっているのか情報交換する必要があるという主旨の発言をさせていただきました。

【その他】

(1) 第33回空堀川クリーンアップ(2018.4.21) 写真報告

副座長

- 先週土曜日、第33回空堀川クリーンアップを開催し、好天に恵まれて、参加者82名、新しく3団体も加わっていただき、成功裏に終了しました。収集したゴミの量は180kgで、可燃が110kg、不燃が70kg、その他に資源ゴミ。北多摩北部建設事務所と東大和市環境課の方にもご支援をいただき、御礼を申し上げます。

(2) 空堀川の水量確保方法の検討

都民委員

- この地域には年間1500mmくらい雨が降っています。ただ、その雨は今ほとんど利用されていません。空堀川の洪水を起こしているだけで、あっという間に流れ去ってしまうという状況です。
- 飲料水は、武蔵村山と東大和は、多摩川の小作堰と羽村堰で取水して小作浄水場から来ています。東

村山と清瀬は、東村山浄水場から来ています。その水は羽村堰から玉川上水を通して小平監視所から東村山浄水場に行っているのが約8万トン。大部分は利根川の利根大堰から武蔵水路を通して荒川へ、荒川の秋ヶ瀬堰で取水して朝霞浄水場へ、そこからポンプアップして東村山浄水場に行っています。2年ほど前の話では1日80万トンくらい、だから多摩川から10%、90%は荒川の方から来ています。その水を、東村山・清瀬だけではなく、東久留米、西東京、練馬の一部、あと下に書いてある多摩川水系の方にも給水しています。

- ・茶色の線で描いてあるように、武蔵村山の東半分と東大和、東村山、清瀬の汚水は清瀬水再生センターに行っています。空堀川には戻らないで、全量、柳瀬川に1日約23万トン放流しています。
- ・結局、このあたりに降った雨もまったく利用されていないし、飲み水も全部他所から来た水という、ちょっと歪な構造になっています。水循環という考え方からすると、ちょっと異常な状態です。
- ・もう一つのA3の資料は、今日は議論する時間はありませんでしたが、前回提示させていただいた中に、○△×を私の方で考えたなりに付けておいたので、また次回議論したいと思います。もし、疑問やご意見があればご連絡いただければ修正していこうと思っています。

(3) 次回開催予定について

※事務局が、次回開催予定について提案を行い、調整の結果、以下のとおり決定しました。

- ・次回開催：6月26日火曜日 14時～16時 北多摩北部建設事務所 3階第5会議室
- ・予備日：6月22日金曜日 14時～16時 北多摩北部建設事務所 3階第5会議室

以上